

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	デイサービス シュシュ		
○保護者評価実施期間		令和7年10月20日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間		令和7年10月20日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年11月24日	

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切な支援の提供、特に専門的支援を理学療法士・作業療法士・言語聴覚士で実施していること	・質を高められるよう各職種での研修を実施している ・個別療育や小集団療育の内容が共有できるよう記録や発言を行っている ・集団療育を各職種の専門性を活かしながら担当している	・専門性をさらに活かすことができるよう活動の計画や個別療育の立案と実施を常に検討していく ・スーパーバイズの制度を継続していく
2	・専門的な視点での保護者支援を行っていること	・質を高められるよう各職種での研修を実施している ・必要に応じて経験年数の高いスタッフが対応できるようにしている	・経験年数の高いスタッフの見立てがさらに浸透していくようカンファレンスやケース会議での解説を増やしていく
3	・環境や体制の整備ができていること	・余裕をもった職員配置をしている ・構造化を主眼において環境整備を行っている	・現在の状況を維持していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時等の対応の実施が保護者に認知されていないこと	・実施した様子を保護者に伝えきれていない	・機会をみて、児発管から保護者に強調して伝えていく ・実施した日の様子を写真等にて掲示し周知する
2	・ホームページやInstagram、毎月のシュシュレターを更新しているが、発信していると認知されていないこと	・アンケートの項目に該当するものが存在することが認知されていない	・機会をみて、児発管から保護者に強調して伝えていく
3	・施設内を見ていただく機会が少ないと	・親子分離での療育のため、見ていただく機会が少ない ・面談等も別室で行うことが多い ・子どもがいる時間は子どもに集中したいという思いが強い	・施設内を見ていただく機会が作れるように検討していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ディサービス シュシュ						
		公表日 令和7年11月29日						
		利用児童数 令和7年11月1日現在 29人 回収数 19						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19					現在の対応を継続していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	4		2	・数がどれくらいいらっしゃるか分からない	来年度に向けて知つてもらう機会を作つてていきたいと考えています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		2	・職員の方々が外に出る際、戸締りを徹底されていて、飛び出しを起こさない管環境となっているため安心しています。	現在の対応を継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19					現在の対応を継続していきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	19					現在の対応を継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19					現在の対応を継続していきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					現在の対応を継続していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			2		現在の対応を継続していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					現在の対応を継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			1		当事業所の活動プログラムは固定化されていますが、内容は固定化しないように工夫しています。繰り返しの学習による定着が必要な課題に関しては固定化しているものもあります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	2	11	・所属している園と連携して頂けていることにいつも感謝しています。	当事業所が提供させていただく療育スタイルや、保護者のニーズから考え、今後もそういう交流や活動の共有は予定していません。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					現在の対応を継続していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1				現在の対応を継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	1	7	・チラシ設置での情報提供は、とてもありがとうございます！	保護者からのご相談があった場合に助言や連携等の支援を行っています。現在、正式なペアレン特・トレーニングは行っていません。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19				・帰りの際に、必ずその日の様子を伝えいただいています。	現在の対応を継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18			1	・とても納得したアドバイスをいたしました。	現在の対応を継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18			1		現在の対応を継続していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	5	6	・保護者同士の交流はないが、個人で必要性は異なると思う。 ・あると嬉しいです！ぜひ参加したいです。	現在は実施していません。来年度の課題として検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			3		現在の対応を継続していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19					現在の対応を継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			5		毎月お知らせをお渡しし、Instagramでの営業のお知らせも行っています。より認知していただけるよう努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19					現在の対応を継続していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			5	※未記入1	現在の対応を継続していきます。保護者の方にも認知していただけるよう検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			8	※未記入1	現在の対応を継続していきます。保護者の方にも認知していただけるよう検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			5	※未記入1 ・書面では記入あるが、実施の有無は不明。	現在の対応を継続していきます。保護者の方にも認知していただけるよう検討していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			6		現在の対応を継続していきます。保護者の方にも認知していただけるよう検討していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19					今後も、保護者の方とおこさまの安心感を第一に考え、日々研鑽していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19					今後も、楽しみながら力をつけていける療育が提供できるよう、日々研鑽していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19					今後も、満足していただける支援が提供していけるよう、日々研鑽していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		デイサービス シュシュ				
		公表日 令和7年11月29日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		構造化を主眼においてスペースが利用できるよう整備しています。	現在の対応を継続します。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。C15	9		余裕をもった職員配置を心掛けています。	現在の対応を継続します。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		構造化を主眼においてスペースが利用できるよう整備しています。絵カードやパーテーションも有効に活用しています。	現在の対応を継続します。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		構造化を主眼においてスペースが利用できるよう整備しています。毎日の清掃も行っています。	現在の対応を継続します。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		集団療育・小集団療育・個別療育に対応できる場を用意しています。	現在の対応を継続します。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年1回実施しています。	現在の対応を継続します。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年1回実施しています。	現在の対応を継続します。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		法人内で行っています。	現在の対応を継続します。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		年間計画を立て、事業所内では月1~3回の研修を行っています。外部研修への受講も積極的に行っています。	現在の対応を継続します。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		個別支援計画にも掲載しています。	現在の対応を継続します。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施している	現在の対応を継続します。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		日々の様子をアセスメント・モニタリングとして記録しています。	現在の対応を継続します。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		設定されるように立案しています。	現在の対応を継続します。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供へ続き	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		定着が必要なプログラムに関しては固定化させて実施しています。それ以外のプログラムに関しては楽しく取り組めるよう立案しています。	現在の対応を継続します。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		打ち合わせができないときにも対応できるよう、業務表に必ず記載し、スタッフが出勤時に必ず目を通せるように工夫しています。	現在の対応を継続します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		必ず行き、意見が平板化しないように進行を交代しながら実施しています。	現在の対応を継続します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		記録を徹底し、検証・改善につながるように複数人が記録にあたっています。	現在の対応を継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		日々のモニタリングをもとに見直しを行っています。	現在の対応を継続します。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が参画し、必要に応じて担当者が同席するようにしています。	現在の対応を継続します。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		児童発達支援管理責任者が参画し、必要に応じて担当者が同席するようにしています。	現在の対応を継続します。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		児童発達支援管理責任者が中心となり対応しています。	現在の対応を継続します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		必要に応じて児童発達支援管理責任者が中心となり行っています。	現在の対応を継続します。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		9	機会がありませんでした。	機会があれば機会を設けます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		9	していません。	こどもへの専門的な療育に専念することで質の高い療育を提供していきたいと考えていますので、今後も予定はありません。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		9	毎回のお迎え時にその日の様子をお伝えさせていただいている。必要に応じて日々の困りごと等の相談に応じています。	現在の対応を継続します。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		9	ニーズがある場合は行っています。	現在の対応を継続します。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		見学時や契約時に行ってています。	現在の対応を継続します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		家族の意向が中心になりますが、確認しています。	現在の対応を継続します。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		同意を得、控えをお渡ししています。	現在の対応を継続します。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		ニーズに合わせて、面談を設定することや必要な支援を行っています。	現在の対応を継続します。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		していません。	子どもへの専門的な療育に専念することで質の高い療育を提供していきたいと考えていますので、今後も予定はありません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		今年度はまだ苦情がありません。必要に応じて真摯に対応していきたいと考えています。	現在の対応を継続します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月、活動概要や連絡事項等を掲載したシユシュレーターをお渡ししています。警報発令時は、Instagramにてお知らせしています。	現在の対応を継続します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		留意しています。	現在の対応を継続します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		専門職が中心となり、配慮を行っています。	現在の対応を継続します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		近隣の方に事業内容を理解していただけるようお話させていただき、ご理解とご協力を得ています。	現在の対応を継続します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		職員は常に閲覧できる状態になっています。訓練も年間計画に基づき実施しています。	現在の対応を継続します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPを策定し、研修や訓練を行っています。	現在の対応を継続します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		サポートシートにて確認しています。	現在の対応を継続します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		サポートシートにて確認しています。	現在の対応を継続します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、研修や訓練等を行っています。毎月のシユシュレーターにも掲載しています。	現在の対応を継続します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		安全計画を作成し、研修や訓練等を行っています。毎月のシユシュレーターにも掲載しています。	現在の対応を継続します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ミーティング内で方策の検討を行い、業務表上に記載し共有できるようにしています。	現在の対応を継続します。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年間計画に基づいて、虐待防止に向けた研修を実施しています。	現在の対応を継続します。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1 (身体拘束を行っていないという意見)	基本的に身体拘束を行わずに支援をする方針です。現在も事例はありません。	現在の対応を継続します。

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	デイサービス シュシュ		
○保護者評価実施期間		令和7年10月20日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	77人	(回答者数) 39人
○従業者評価実施期間		令和7年10月20日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年11月24日	

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切な支援の提供、特に専門的支援を理学療法士・作業療法士・言語聴覚士で実施していること	・質を高められるよう各職種での研修を実施している ・個別療育や小集団療育の内容が共有できるよう記録や発言を行っている	・専門性をさらに活かすことができるよう活動の計画や個別療育の立案と実施を常に検討していく ・スーパーバイズの制度を継続していく
2	・専門的な視点での保護者支援を行っていること	・質を高められるよう各職種での研修を実施している ・必要に応じて経験年数の高いスタッフが対応できるようにしている	・経験年数の高いスタッフの見立てがさらに浸透していくようカンファレンスやケース会議での解説を増やしていく
3	・環境や体制の整備ができていること	・余裕をもった職員配置をしている ・構造化を主眼において環境整備を行っている	・現在の状況を維持していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時等の対応の実施が保護者に認知されていないこと	・実施した様子を保護者に伝えきれていない	・機会をみて、児発管から保護者に強調して伝えていく ・実施した日の様子を写真等にて掲示し周知する
2	・ホームページやInstagram、毎月のシュシュレターを更新しているが、発信していると認知されていないこと	・アンケートの項目に該当するものが存在することが認知されていない	・機会をみて、児発管から保護者に強調して伝えていく
3	・各職員の職種等が伝わっていないことや説明内容等の不十分さ	・名札の分かりにくさ ・各職員の対応の不十分さ	・名札を見直す ・分かりやすい説明について施設内研修を行う ・説明の際の時間や解説が不十分な場合に別の時間を設けることができるこを伝えていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ディサービス シュシュ						
		公表日 令和7年11月29日						
		利用児童数 令和7年11月1日現在 77人						回収数 39
		チェック項目	(はい)	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	2			・運動もできるので良いと思います。	現在の対応を継続していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	39				・多くの先生方がおられます、ゆっくり出会うことがなく、どの職種の〇〇先生かいまだに分からぬ。すみません。 ・専門的な先生が揃っていて良いと思います。	現在、名札に職種は記載していますが、さらに分かりやすいように来年度に向けて名札を見直します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37		2		・玄関がスロープになっていて、バリアフリー化していると思います。	現在の対応を継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36			3	・きれいで清潔だと思います。	現在の対応を継続していきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39				・情緒不安定なこどもに寄り添っていたり、いろんな支援をされてきた先生に相談でき、親も助けられています。 ・苦手なことを強化してくれる助かります。	現在の対応を継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38		1		・固定化されずにいろいろな課題があつて良いと思います。	現在の対応を継続していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38		1		・こどもの苦手なことを強化してくださり、家族へもアドバイスをしてくださつて支援方法を教えてくださってありがとうございます。	現在の対応を継続していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36		3		・苦手なことを中心に取り組めていると思います。	現在の対応を継続していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38		1		・制作はいろいろなものを作れて良いと思います。	現在の対応を継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1	3		・いろいろな制作をして帰ってきており、感心しています。	当事業所の活動プログラムは固定化されていますが、内容は固定化しないように工夫しています。繰り返しの学習による定着が必要な課題に関しては固定化しているものもあります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	6	6	10		当事業所が提供させていただく療育スタイルや、保護者のニーズから考え、今後もそういった交流や活動の共有は予定していません。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39					現在の対応を継続していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38			1	・説明を受けるがイメージしにくい。	分かりやすい説明ができるよう研鑽していきます。分かりにくいときには、ぜひお声かけください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	3	3	8		保護者からのご相談があった場合に助言や連携等の支援を行っています。現在、正式なペアレントトレーニングは行っていません。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	37	1		1	・会話できる時間が短すぎる（いつも忙しそうで声をかけづらい）。 ・送迎時に活動内容を教えてくださるの で良いと思います。	現在の対応を継続していきます。ご意見どおり、忙しい場面も多いですが、ぜひお声かけください。別日での面談なども調整することができます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	5			・悩んだときに親身になって聞いてくださり、嬉しいです。	現在の対応を継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37			2	・子どものことをよくわかってくれていると思います。	現在の対応を継続していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	5	8	11	・設けられていたとしても、そのことを知らない。	現在は実施していません。来年度の課題として検討していく予定です。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	2		3		現在の対応を継続していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39				・サービス提供記録があるので良いと思います。	現在の対応を継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	2		9	・毎月シュシュレターがあるので良いと思います。	毎月お知らせをお渡しし、Instagramでの営業のお知らせも行っています。より認知していただけるよう努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39					現在の対応を継続していきます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33		1	5	・いつどういった訓練をしているのか知らない。	現在の対応を継続していきます。保護者の方にも認知していただけるよう検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27			12	・いつどういった訓練をしているのか知らない。	現在の対応を継続していきます。様子を写真などで掲示するなど保護者の方にも認知していただけるよう改善します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1		5		現在の対応を継続していきます。シミュレーターに記載していますので、ぜひ一読ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	1		5	・事故などにあったことがないのでわかりません。	現在の対応を継続していきます。保護者の方にも速やかな連絡が必要な程度の事故は起きていません。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	39				・先生が優しくて明るくて信頼できる。 ・専門的支援をしてくださるのでこどもが成長している。	今後も、保護者の方とおこさまの安心感を第一に考え、日々研鑽していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38	1			・とても楽しみにしている。 ・前日から「シュシュ！」と言って毎回行きたがっている。	今後も、楽しみながら力をつけていくれる療育が提供できるよう、日々研鑽していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39				・いつもありがとうございます。特に工作の時間が好きなようで毎回楽しみに行かせてもらっています。 ・できることが増えてきて本当にありがたい限りです。 ・机上課題だけでなく生活の活動もしてくださいなり、役立つことが多くて大変満足しています。	今後も、満足していただける支援が提供していけるよう、日々研鑽していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		デイサービス シュシュ				公表日 令和7年11月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		構造化を主眼においてスペースが利用できるよう整備しています。	現在の対応を継続します。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		余裕をもった職員配置を心掛けています。	現在の対応を継続します。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		構造化を主眼においてスペースが利用できるよう整備しています。必要物品のみを出すようにし刺激量を調整しています。	現在の対応を継続します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		構造化を主眼においてスペースが利用できるよう整備しています。毎日の清掃も行っています。	現在の対応を継続します。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		集団療育・小集団療育・個別療育に対応できる場を用意しています。	現在の対応を継続します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年1回実施しています。	現在の対応を継続します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		日々のミーティングや各会議等で意見を出し改善につなげることができます。	現在の対応を継続します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		法人内で行っています。	現在の対応を継続します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		年間計画を立て、事業所内では月1~3回の研修を行っています。外部研修は今年度延べ9人が受講しました。	現在の対応を継続します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		個別支援計画にも掲載しています。	現在の対応を継続します。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施している	現在の対応を継続します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		日々の様子をアセスメント・モニタリングとして記録しています。	現在の対応を継続します。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		設定されるように立案しています。	現在の対応を継続します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供へ続き	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		定着が必要なプログラムに関しては固定化させて実施しています。それ以外のプログラムに関しては楽しく取り組めるよう立案しています。	スタッフによって差があると思うという意見があったため、スタッフによる差が生じにくくするため、入職後1年程度のスーパーバイズ制度をより強化していきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		毎月カンファレンスやケース会議を実施しています。	現在の対応を継続します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		基本的には毎回打ち合わせを実施していますが、参加できないスタッフや打ち合わせできないときのために、業務表に支援内容や役割分担等を記載し必ず全員が出勤時に確認するようにしています。	現在の対応を継続します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		必ず行い、意見が平板化しないように進行を毎日交代しています。	現在の対応を継続します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		記録を徹底し、検証・改善につながるように複数人が記録にあたっています。	現在の対応を継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		日々のモニタリングをもとに見直しを行っています。	現在の対応を継続します。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		基本的には組み合わせて支援が行えるようプログラムが設定されています。	現在の対応を継続します。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		専門職が中心となり、子どもの自己決定・自己選択の機会を存分に作っています。	現在の対応を継続します。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達支援管理責任者が参画し、必要に応じて担当者が同席するようにしています。	現在の対応を継続します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		児童発達支援管理責任者が参画し、必要に応じて担当者が同席するようにしています。	現在の対応を継続します。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		児童発達支援管理責任者が中心となり対応しています。	現在の対応を継続します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		必要に応じて児童発達支援管理責任者が中心となり行っています。	現在の対応を継続します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		ニーズがある場合は実施しています。	現在の対応を継続します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		9	機会がありませんでした。	機会があれば機会を設けます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8	1	していません。	子どもへの専門的な療育に専念することで質の高い療育を提供していきたいと考えていますので、今後も予定はありません。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	9		参加しています。	サービス提供に支障がないように参加を検討していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		毎回のお迎え時にその日の様子をお伝えさせていただいている。必要に応じて日々の困りごと等の相談に応じています。	現在の対応を継続します。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		ニーズがある場合は行っています。	現在の対応を継続します。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		見学時や契約時に行ってています。	現在の対応を継続します。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		家族の意向が中心になりますが、確認しています。	現在の対応を継続します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		同意を得、控えをお渡ししています。	現在の対応を継続します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		ニーズに合わせて、面談を設定することや必要な支援を行っています。	現在の対応を継続します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		していません。	来年度の課題として検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		今年度はまだ苦情がありません。必要に応じて真摯に対応していきたいと考えています。	現在の対応を継続します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月の活動概要としてシュシュレーターを発行しあげています。連絡体制の情報等も掲載しています。警報発令時等は、Instagramにてお知らせしています。	より認知度を高められるように契約時等にお伝えする内容を工夫していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		留意しています。	現在の対応を継続します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		専門職が中心となり、配慮を行っています。	現在の対応を継続します。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		近隣の方に事業内容を理解していただけるようお話させていただき、ご理解とご協力を得ています。	現在の対応を継続します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		職員は常に閲覧できる状態になっています。訓練も年間計画に基づき実施しています。	現在の対応を継続します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPを策定し、研修や訓練を行っています。	現在の対応を継続します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		サポートシートにて確認しています。	現在の対応を継続します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		サポートシートにて確認しています。	現在の対応を継続します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、研修や訓練等を行っています。毎月のシュシュレーターにも掲載しています。	現在の対応を継続します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		安全計画を作成し、研修や訓練等を行っています。毎月のシュシュレーターにも掲載しています。	現在の対応を継続します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ミーティング内で方策の検討を行い、業務表上に記載し共有できるようにしています。	現在の対応を継続します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年間計画に基づいて、虐待防止に向けた研修を実施しています。	現在の対応を継続します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		基本的に身体拘束を行わずに支援をする方針です。現在も事例はありません。	現在の対応を継続します。